

# 新技術活用計画書・実施報告書、 活用効果調査表の作成について

---

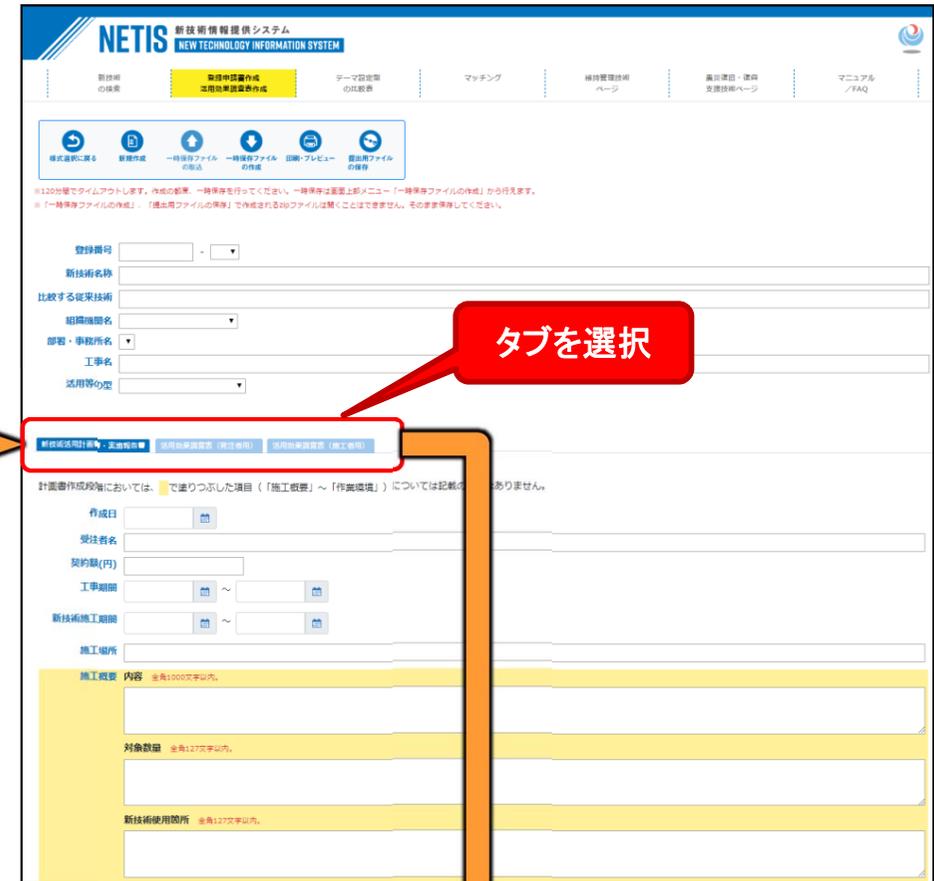
- ・ 令和2年1月より「NETIS」（新技術情報提供システム）がリニューアル（クラウド化）され、新技術を活用した際に作成する「新技術活用計画書、実施報告書」および「活用効果調査表」がWEB上で作成可能となりました。
- ・ これまで、九州地方整備局ではExcel版の調査表等を利用しておりましたが、リニューアルに伴いExcel版を廃止し、今後はWEB上での調査表等の作成へ切り替えます。
- ・ 本紙ではWEB上での手順を記載しています。



## 【NETIS TOPページ】

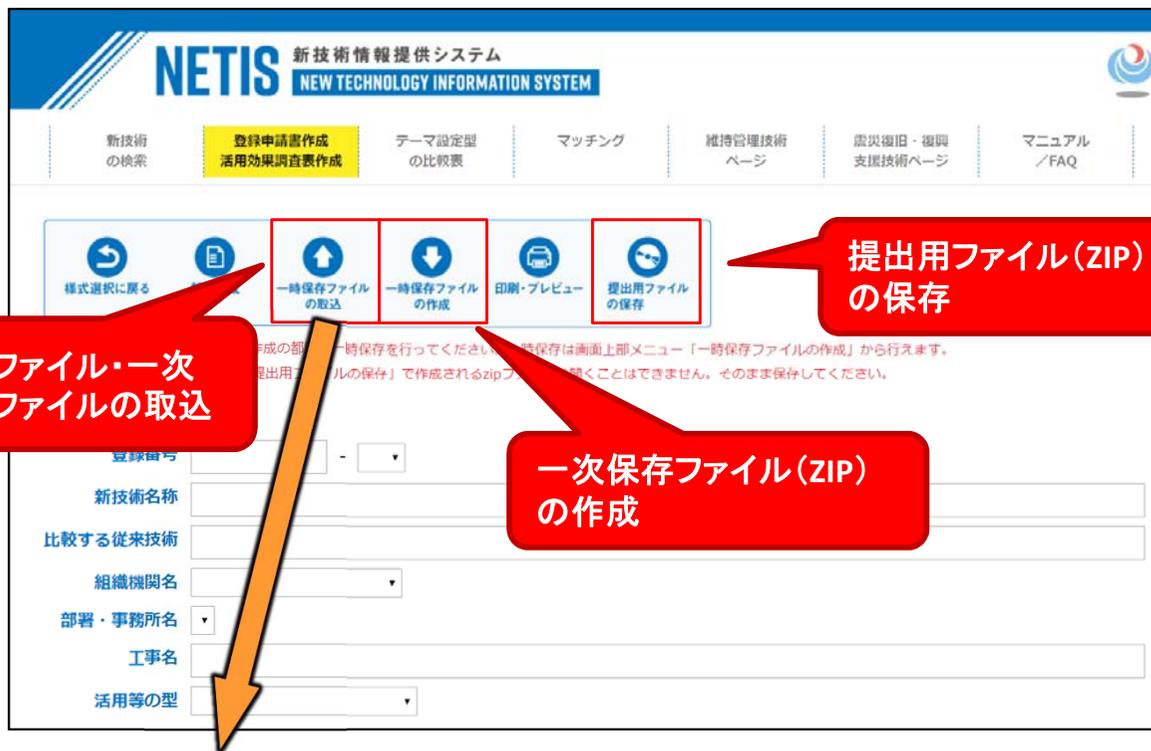


## 【入力画面】



- 新技術活用計画書・実施報告書
- 活用効果調査表 (発注者用)
- 活用効果調査表 (施工者用)

※入力する項目(タブ)をクリックして選択してください



## 提出用ファイルについて

- ◆ 提出用ファイルは、「工事名\_QS-〇〇〇〇〇〇.zip」で作成されます

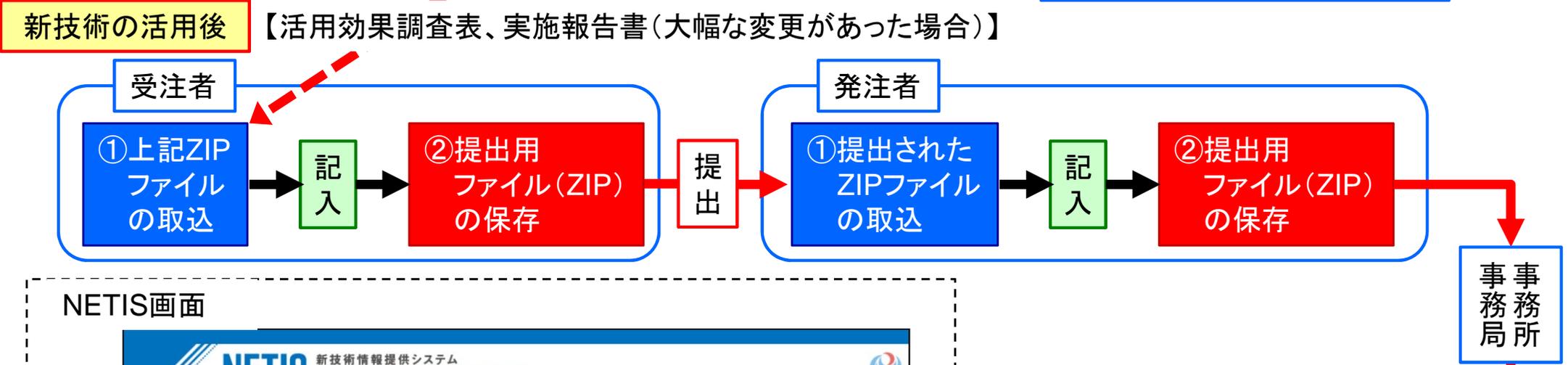
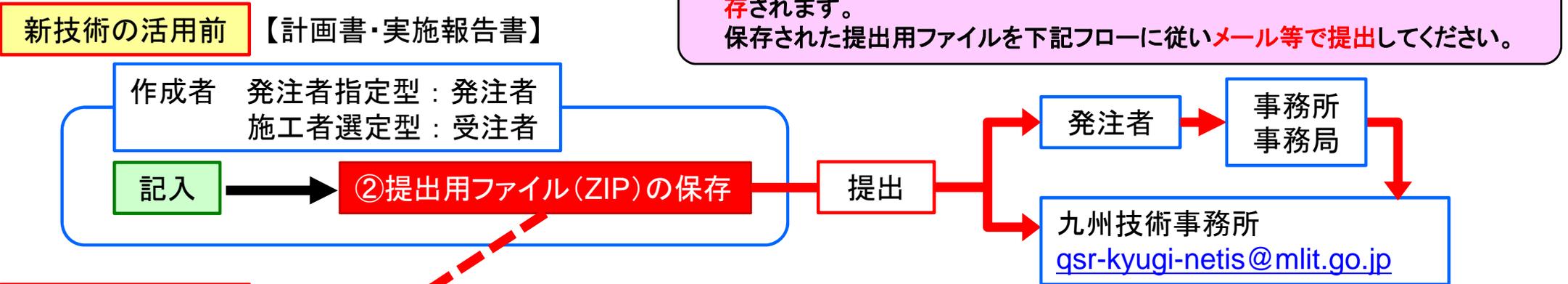
## 【提出ファイル・一次保存ファイルの取込】



※ZIPファイルは開くことはできません  
必ず、左の画面にて取り込んでください

## 【新技術活用計画書・実施報告書、活用効果調査表の提出の流れ】

※「②提出用ファイル(ZIP)の保存」は作成者個人のPC内に提出用ファイルが保存されます。  
保存された提出用ファイルを下記フローに従いメール等で提出してください。



→ : メール等による提出の流れ

## 九州地方整備局における新技術活用計画書の記入方法

新技術活用計画書・実施報告書 活用効果調査表（発注者用） 活用効果調査表（施工者用）

計画書作成段階においては、**で塗りつぶした項目（「施工概要」～「作業環境」）については記載の必要はありません。**

作成日

受注者名

契約額(円)

工事期間  ~

新技術施工期間  ~

施工場所

施工概要 内容 全角1000文字以内。

対象数量 全角127文字以内。

新技術使用箇所 全角127文字以内。

施工（活用）概要資料  
 選択されていません  
※ファイルは30MBまでのものとしてください。

現場施工条件 各全角1000文字以内。

●現場条件

●周辺状況（病院、学校、鉄塔の有無等）

●自然環境（騒音、振動、水質等）

障害 施工上で重大な障害や問題が生じたか。  
 無  有

障害の内容 全角127文字以内。

作業環境  陸上作業  水上作業  地下作業  水中作業  高所作業

活用理由 ※チェックボックスにチェックがない場合、入力されたコメントはNETISに登録されません。  
 ※チェックボックスにチェックがある場合、コメント欄は入力必須です。

経済性

工程

品質・出来形

安全性

施工性

環境

その他 (  )

その他 (  )

**※注意**  
システム上は、記載必要なしと記載されていますが、九州地方整備局では、NETIS技術の「コスト縮減」「工期短縮」の効果分析を実施しておりますので、記入協力をお願いいたします。

→ **※施工（活用）概要資料の添付は不要です。**

・計画書作成段階において、「障害」を除く**全ての項目**について記入をしてください

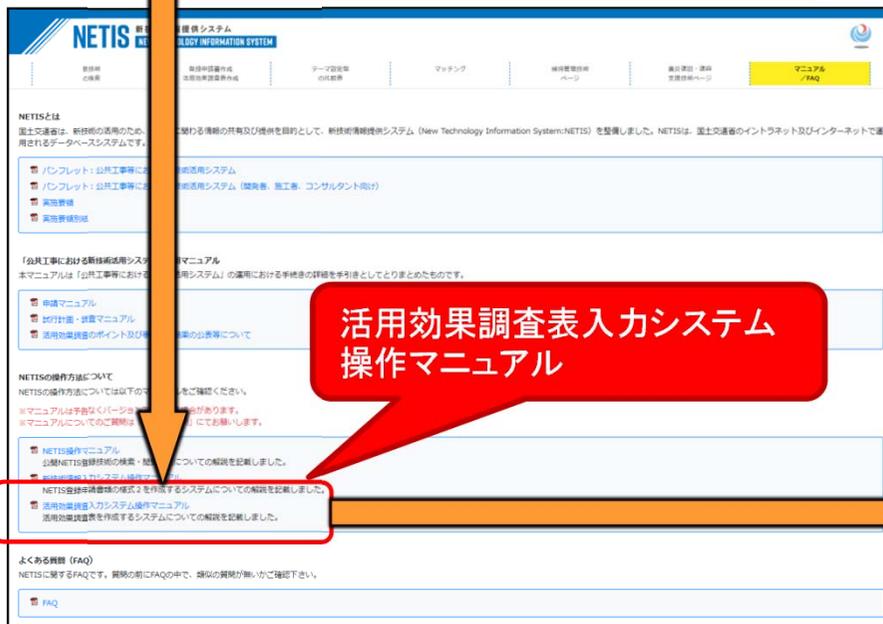
で塗りつぶした項目（「施工概要」～「作業環境」）についても記入してください  
特に、対象数量に関しては、**新技術のコストが推定できる「新技術部分の数量」**を記入してください

・実施報告書の作成について（-VE技術）  
「-VE」技術については、新技術活用計画書作成時より**大幅な変更**や**施工上で重大な障害や問題があった場合に、実施報告書を修正**してください

「-A」「-VR」「-V」技術および「-VE」技術で計画書作成段階において「施工概要」～「作業環境」を記入していない場合については、実施報告書、活用効果調査表（「-VE」は不要）の提出が必要となります

参考：活用効果調査表入力システム操作マニュアル

## 【NETIS TOPページ】



## 活用効果調査表作成 簡易利用マニュアル

